



平成 21 年 4 月 28 日

各 位

上場会社名 静甲株式会社  
代表者 取締役社長 鈴木恵子  
(コード番号 6286)  
問合せ先責任者 取締役 中村元保  
(TEL 054-366-1106)

平成 21 年 3 月期 通期業績予想(連結・個別)との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 1 月 29 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成 21 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	23,000	20	70	100
今回発表予想(B)	22,053	△286	△229	△273
増減額(B-A)	△947	△306	△299	△373
増減率(%)	△4.1%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	25,859	405	470	212

2. 平成 21 年 3 月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	10,100	△40	60	140
今回発表予想(B)	9,409	△178	△81	△22
増減額(B-A)	△691	△138	△141	△162
増減率(%)	△6.8%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	11,918	149	253	151

3. 修正の理由

(1) 連結

産業機械事業では、現地調整工事の遅れにより、一部の大型包装機械の売上時期が翌期にずれ込んだことから、売上高が減少いたしました。冷間鍛造事業では、納入先メーカーの生産調整による自動車部品および電動工具部品の減少が予想を上回り、また、これまで業績を下支えしてきた電機機器事業では、景気後退の影響から、機械メーカーなどの県内製造業向け F A 機器販売が減少いたしました。これらのことから、連結売上高は前回予想を下回る 22,053 百万円となる見込みとなりました。

利益面では、売上高減少による減益に加えて、産業機械事業で原価が予定を上回る案件が発生したことや、連結子会社である日本機械商事(株)で、売掛金の一部について回収可能性を検討した

結果、貸倒引当金を計上したことなどから、営業損失 286 百万円、経常損失 229 百万円となる見込みです。

また、特別損失として、当社において包装機械の展示会出展機等に係るたな卸資産評価損 109 百万円、連結子会社の静岡スバル自動車(株)において営業拠点の統廃合に係る減損損失 404 百万円を計上することから、当期純損益は 273 百万円の当期純損失となる見込みです。

なお、上記特別損失の詳細につきましては、本日付の当社「特別損失の計上に関するお知らせ」および静岡スバル自動車(株)「平成 21 年 3 月期 特別損失の計上及び通期業績予想(連結・個別)との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) 個別

個別業績予想の修正につきましても、連結業績予想と同様の理由によるものであります。

4. 期末配当予想について

当期は非常に厳しい業績となりましたが、当社は配当政策として「安定配当を継続的に行うこと」を基本方針としていること、ならびに、本年 5 月に当社が創業 70 周年を迎えることに鑑み、期末配当金は従来予想通り 1 株当たり 8 円とさせていただきます。なお、中間配当金として 1 株当たり 8 円をお支払いしておりますので、年間の配当金は 1 株当たり 16 円（前期と同額）となります。本件は、6 月下旬に開催予定の第 107 回定時株主総会に付議する予定であります。

以上